

電子閉そくシステムが「でんきの礎」として顕彰

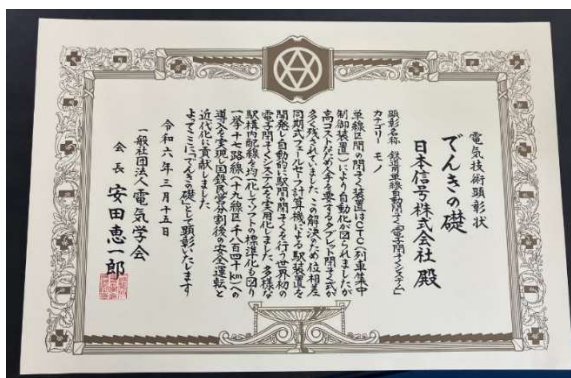
日本信号株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：塚本英彦）、公益財団法人鉄道総合技術研究所様、東日本旅客鉄道株式会社様、大同信号株式会社様が開発に関わった、「電子閉そくシステム」が第17回電気技術顕彰「でんきの礎[※]」として一般社団法人電気学会より顕彰されました。

1980年代、列車本数の多い主要線区には列車集中制御装置（CTC装置）などの、列車を一括制御するシステムが導入されて自動化が進んでいましたが、地方交通線ではこのようなシステムはコストが見合わず導入困難でした。

そのため、単線区間の多くは、駅員と列車運転士の間で「通票（タブレット）」を受け渡し、駅員が信号機とポイントの転換作業を行う「タブレット閉そく」により列車運行の安全を保っていましたが、多くの方が介在する方式で、多額のコストが掛かっていました。

その課題を解決すべく当時の国鉄が中心となり開発したものが、運転士が車載器のボタンを操作することにより出発要求信号が駅装置に送信され、これを受信した駅装置が隣接駅の駅装置と自動的に安全を確認して出発を許可する「電子閉そくシステム」です。

それまで駅員が行ってきた通票受け渡しや信号機、ポイントの転換作業を不要とするなど、トータルコストを格段に削減し、コスト削減と共に地方交通線の運転取扱の近代化、安全性向上に大きく貢献した功績が評価され、今回の顕彰に繋がりました。



※「でんきの礎」とは電気学会が「社会生活に大きく貢献した電気技術」の功績を称え、その価値を広く世の中に周知して多くの人々に電気技術の素晴らしさ、面白さを知ってもらい、今後の電気技術の発展に寄与することを目的に、技術史的価値、社会的価値、学術的・教育的価値のいずれかを有する略25年以上経過した電気技術の業績を顕彰するものです。（出典：電気学会ホームページ：<https://www.iee.jp/file/foundation/data07/press/press17-all.pdf>）

問い合わせ先

日本信号株式会社

〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング13階

総務部 Tel 03-3217-7200 Fax 03-3217-7300 E-Mail info@signal.co.jp